

面河溪の植物

～調べて・残して・保全する～

保存状態のよい森林環境が残る面河溪には、450種を超す高等植物が記録されています。しかし、過去50年間、継続的な調査が不足しているため、植物相の変化や希少種の生息状況の把握が非常に遅れています。面河溪の魅力を多くの人に伝え、後世に残していくためには、今、どんな植物がどれくらい生息しているかを記録していく必要があります。

今回の講座では面河溪トコロジスト（場所の専門家）の育成を目指し、植物の調査法や記録の残し方、保全の考え方などを学びます。低温多雪で急峻な岩場に囲まれた面河溪。ここに適応した特殊な植物たちを観察しながら、植生を守る意義を考えてみましょう。

【主な内容】

- ・面河溪トコロジストとは？
- ・面河溪の植生、植物相、外来種
- ・溪流や岩場に適応した植物
- ・北方系、南方系の植物
- ・日本海要素の植物
- ・調査法、記録の残し方、残す意義



平成30年6月16日(土) 10:00~15:00

面河山岳博物館(集合), 面河溪(野外実習) 久万高原町 若山 650-1

講師：橋越 清一さん（愛媛植物研究会・日本野鳥の会愛媛会員）

参加費：400円 申込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。

電話/0892-58-2130, FAX/0892-58-2136

対象：面河溪やその周辺で自然観察や生物調査、ガイド等に取り組みたい方

定員：15名（先着順のため、定員になり次第締め切らせていただきます。）

持参品：昼食、雨具、ルーペ（ある方）、デジカメ（ある方）

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	※市町村名まででかまいません。
電話番号	